

2024年10月31日

## **SAAJ** NEWS RELEASE

### 公開草案「財務諸表における気候関連及びその他の不確実性」について意見書を提出

公益社団法人 日本証券アナリスト協会（会長：小池 広靖 野村アセットマネジメント CEO 兼代表取締役社長）は、国際会計基準審議会（IASB）が2024年7月31日に公表した公開草案「財務諸表における気候関連及びその他の不確実性」（以下、本公開草案）について、2024年10月31日に意見書を提出しました。

#### 【意見書のポイント】

- 財務諸表とサステナビリティ情報では、そもそも時間軸が異なる。財務諸表では、会計基準に基づく時間軸の中で、必要十分な情報を開示すべきであり、会計基準の拡大解釈はあってはならないと考える。そうした前提の下で、提案されている設例は、財務諸表利用者が行う意思決定への影響に焦点を当てていること、財務諸表で何を開示すべきか、何を開示すべきではないかを明確化していること、会計基準とサステナビリティ開示基準の役割を明確化していることから、有意義であると考えます。
- その上で、主に次のような改善を提案したい。
  - ✓ サステナビリティ情報の開示事例の積み上げに応じて改訂すること。また、IFRS 会計基準と IFRS サステナビリティ開示基準の要求事項に不整合がある場合には基準の改訂を検討すること。
  - ✓ 包括的かつ首尾一貫して利害関係者が理解できるようにするため、例示を IFRS 会計基準に付属する設例として含めることに加えて、グループ分けして単一の文書として公表すること。また、包括的に解説する教育的文書を提供すること。
  - ✓ 作成者が設例に挙げられている具体的なケースを狭く解釈したり、新たなリスクに関する開示をカバーできなかつたりする可能性を排除するため、設例の例示により具体性を持たせたり、設例の背後にある汎用的で基本的な考え方の説明を追加したりすること。

【添付資料 1】 *Re: Exposure Draft “Climate-related and Other Uncertainties in the Financial Statements”*

【添付資料 2】 公開草案「財務諸表における気候関連及びその他の不確実性」について

本件に関するお問い合わせは下記まで

**SAAJ** 公益社団法人  
日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1200

担当：企業会計第2部長 土谷 敬